スマイル天神 No.13

思いやりのある子・進んで学ぶ子・明るくたくましい子

令和３年６月28日
天神小学校
校長　木下　和弥

GIGA スクール構想（スマート・スクール・SASEBO 構想）

GIGA スクール構想とは、一人一台のパソコン等と、高速大容量通信を用いて、児童生徒一人一人のために、「個別最適化され、創造性をはぐくむ教育」を実現させる施策のことです。

「個別最適化」とは何でしょうか。簡単に言うと、一人一人の力に合わせた学習ができるということです。例えば、宿題で言えば、今までは、クラス４０人がいて、一人一人違った学力の特性を持っていたにもかかわらず、同じプリントをやる一斉の課題が出されていました。その学習が得意な子どもにとっては、「確認」や「復習による定着」という意味合いがあり、その学習が苦手な子どもにとっては大変な内容であったかもしれません。

もし、個別最適化すると、一人一人の学習定着状況を４０人分把握し、一人一人に合ったプリントを４０種類用意し、すべて丸付けすることとなり、まず不可能でした。

現在、児童用端末からアクセスできる「ｅライブラリ」を活用すれば、苦手な単元なら、基礎を繰り返したり、前の学年に戻って学習したりすることができ、得意な子どもは、応用問題にチャレンジできます。もう一つ大きな利点は、正解か不正解かその場ですぐにわかるということです。これまでは、宿題をする→正解かどうかわからない→間違っていたとしても間違ったまま問題に取り組む（間違ったことが繰り返され、間違いが定着してしまう）。という課題がありましたが、チェックがすぐにできるという利点があります。

しかし、このような学習を行ったり、調べ学習でインターネットを活用したりするためには、インターネット環境が必要です。GIGA スクール構想を佐世保市の施策にしたものが、スマート・スクール・SASEBO 構想です。佐世保市では、一人一台端末が LTE 回線接続でネットが利用可能となっています。家庭に Wi-Fi 環境がなくても、インターネット接続ができます。校外に持ち出して活用することもでき、活用の幅がすごく広くなります。市の莫大な予算をかけて、佐世保市の子どもたちの学習のために、子どもたちの未来のために、という思いが詰まった大切なものです。

今、天神小学校の教室でも、一人一台端末を使った学習が普通に見られるようになってきました。インターネットを利用した調べ学習。ｅライブラリを使ったドリル学習。Google Classroom を使った課題提出など…。先生たちも時代の激流の中、精一杯頑張ってくれています。「パソコン＝ゲーム・悪・危険」という認識から「パソコン＝学習のための道具・文房具のようにありふれたもの」という認識に変えていかなければなりません。

※児童用端末を持ち帰るためのケースやタッチペン等の個人購入はお待ちください。近日中にお知らせします。

７・８月の主な行事　予定

７月１４日(水)	夏の交通安全週間（～20 日）
７月１５日(木)	集団下校（全学年５校時終了後下校）
７月２０日(火)	前期前半終了日（給食あり。下校も通常通り）
７月２１日(水)	夏季休業日（～８月３１日）
８月　９日(月)	登校日（平和学習）　※８月２０日（金）の登校日はありません。

＜これまでの取組み事例紹介＞

５年生の家庭科の学習です。家庭科の教科書に掲載してあるコードを読み取り、玉止め玉結びを動画で紹介するページを見て、一人一人の進め方に合わせて参考にしています。

２年生の学習です。グーグル・クラスルームを使って、先生が出した課題を提出していました。自分の算数のノートを写真で撮影して提出。今までは、ホワイトボードに書いていましたが、写真で撮影して、先生に送信。先生がそれらから適宜選択して大型テレビに映し出す、ということができるようになりました。

４年生の社会の時間です。一人一台端末でインターネットを使って調べました。30 台近いパソコンを一気にネット接続しても、順調に調べることができていました。